

第2回在宅ケア多職種連携活動発表会

日時 平成27年2月7日(土) 午後2時～

会場 ウェルパルクまもと 1階大会議室

会 次 第

14:00～ 開 会

14:05～

劇団てとてと特別公演「仲間づくりは地域づくり」

14:40～

活動発表(1グループ 20分)

【座長】熊本在宅ドクターネット 松本 武敏 様

	グループ名	代表者名	活動名
1	一般社団法人 熊本県 作業療法士会	島崎 一也	目標を定めて再チャレンジ ～生活行為向上マネジメントの紹介～
2	かたくり健軍	椎葉 藍樹代	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
3	熊本市北区医療ネット ワーク研究会	室原 良治	熊本市北区の医療機関が連携を取り地 域包括ケアを確立する

15:40～ 質疑・意見交換

16:00 閉 会

一般社団法人 熊本県作業療法士会

1. 活動名

目標を定めて再チャレンジ ～生活行為向上マネジメントの紹介～

2. 団体等について

名称	一般社団法人 熊本県作業療法士会
代表者	島崎 一也
協力団体	医療法人相生会 にしくまもと病院 通所リハビリテーションれんげ草

3. 活動概要

活動歴	1年(平成25年9月～)
活動のきっかけ	生活行為向上マネジメントツールの学習
活動人数	8名以上
活動目標	関係職種や家族等と連携を取りながら、その人がもう一度行いたい事や再び行う必要がある事等の実現を支援し、住み慣れた地域での生き生きとした生活づくりをめざす。

4. 活動内容

作業療法士が、対象者1人1人から、もう一度行えるようになりたい事・再び行う必要がある事を聞き取り、各種の評価結果や収集した情報を基に、心身機能・活動状況・参加状況をアセスメントおよび予後予測し、2～3か月後に達成可能な目標を定める。そして、その目標達成につながるプランを、本人が行う事・家族が行う事・支援者が行う事とそれぞれに立案し、連携を取り合いながら実施していく。目標の達成度については、満足度および遂行度をもって、本人自身に評価してもらい、達成したら次の目標を掲げ、チャレンジを繰り返していく。今回、軽度な片麻痺にもかかわらず自発的な行為が行えていない80歳代女性に、生活行為向上マネジメントツールを用いて、作業療法士・理学療法士・通所介護士・訪問介護士・家族・介護支援専門員と多職種で情報共有をしながら関わりをもった。その結果、本人がもう一度行いたいと思っていた目標を達成し、相乗効果としてIADLの向上につながった事例を紹介する。

5. 今後の展望

高齢者や障害者の一人ひとりが、役割や生きがいを再獲得もしくは改めて見出し、住み慣れたご自宅や地域環境の中で、その人らしく生き活きと元気に暮らせるよう、作業療法士全員が支援できるようにしていく。また、そのための地域づくりに積極的に参画し、生活行為改善リハビリテーション（仮）の普及にも団体として積極的に活動していく。

かたくり健軍

1. 活動名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

2. 団体等について

名称	かたくり健軍
代表者	椎葉 藍樹代
協力団体	

3. 活動概要

活動歴	1年(平成25年6月~)
活動のきっかけ	住みなれた地域でできるだけ自立してその人らしい生活をサポートするため
活動人数	27名
活動目標	住みなれた地域でできるだけ自立してその人らしい生活をサポートする

4. 活動内容

訪問介護と訪問看護が連携しながら、24時間定期巡回と随時対応のサービスを提供している

5. 今後の展望

介護が必要になっても、施設や病院という選択肢だけでなく、住みなれたご自宅で生活したいという希望を叶えることができるようサポートしていきたい。

熊本市北区医療ネットワーク研究会

1. 活動名

熊本市北区の医療機関が連携を取り地域包括ケアを確立する。

2. 団体等について

名称	北区医療ネットワーク研究会
代表者	室原 良治
協力団体	

3. 活動概要

活動歴	1年(平成25年8月~)
活動のきっかけ	熊本市北区内での医療介護等の連携の必要性が地域包括ケアの確立の為に必要である。
活動人数	8名
活動目標	熊本市北区の医療介護等のサービス機関がお互いに顔の見える連携を行い地域の医療資源を知り、住民が最適な医療を受けることによって地域包括ケアを実現させる。

4. 活動内容

1. 地域の医療介護等のサービス機関が定期的な会合(年4回)を開催し主に事例報告を通して地域連携の諸問題の検討を行う。
2. 年1回程度外部講師による講演会を行う。

5. 今後の展望

1. 今後は、熊本市北区の医療を支えている診療所の医師の参加を募る予定。
2. 今回で培われた連携によって地域住民が安心して生活出来ているということを数値目標化する。